

農地利用最適化推進委員

1 個人による推薦

募集区域：第2(泊)

番号	被推薦者(推薦を受ける者)								推薦者							
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	抱負	氏名	職業	年齢	性別	推薦理由	農業委員への推薦・応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(アール)								
1	中原 政喜	農業	60	男	昭和59年3月～平成14年1月 平成14年2月～平成24年4月 平成25年3月～平成27年9月	名島合名会社 西日本日紅(株) (株)チュウブ	水稻、露地野菜、施設野菜、果樹 主な作目 (メロン、ほうれん草)	20	無	30年余、資材販売を通して多数の農家に接し、農業の現状を直に触れてきました。地域には先輩の委員もおられますが、枠を超えて現下の農業課題に取り組みたい次第です。永続的な営農組合なども画期的な見直しが急務。経営者の流動化などの経営視点の検討。加えて里山的な農山村の生活景色の維持は、子孫と地域文化自体にも及ぶ責任課題と考えます。適切化に尽力させて頂けたらと考えます。	竹内 功	会社役員	74	男	農業資材の販売などを通じて農業に通じており、農業者としての経験もあるので、適任であると認めます。	無
											手石幸洋	会社役員	75	男	農家への資材販売を通じて経営内容を把握し又農業生産者としての経験もあり農業経営の指導者として適任である。	
											小林優貴秀	建築設計事務所長	72	男	自家栽培した地域産野菜を泊地区で行われているマルシェに積極的に出品され地域の魅力を発信されている。	
										陶山健太郎	農業	81	男	肥料等の販売を通じて農業経営、耕作の実態を十二分に把握されている。今後は、農業をしながら地域農業や農業委員会業務に貢献できると期待している。		
										松本幸雄	天神川土地改良区理事長	77	男	行動力有り。積極的取り組み姿勢有り。		
										遠藤公章	土地家屋調査士	58	男	長年農業資材の販売を行ってきたことにより多種多様な多くの農業者と関係を持ち、また自身も農業に従事しており農業経営指導者として適任である。		
										徳野明了	僧侶	68	男	農業と地域社会を総合的に観ている。強い意志と適切な対応能力を表現してほしい。		
										堀 良一	農業	64	男	地域の状況や地域の農業の様子等に精通しており、農業委員会業務に貢献できると考える。		
										谷岡貞幸	農業	63	男	農業の資材関連に詳しく、多くの人と関わっていて、農業に関して新しいことに取り組んでいける人だと思います。		
										石沼 友	会社経営	59	男	明るい性格で、人望も厚く、地域の中心的な役割を果たしておられます。農業委員には適任者だと思います。		
										伊藤 等	会社役員	60	男	農業分野に携わり、お互いに営農集団の活動を話し合い、研究熱心な人です。今後も連携を図ってきたいと思っています。		
										柳川洋美	農業	69	男	農業資材購入、生産などの相談にのって頂き、お互いに勉強しながら農業を営んできました。適任の方と思い推薦いたします。		

農地利用最適化推進委員

1 個人による推薦

募集区域：第2(泊)

番号	被推薦者(推薦を受ける者)							推薦者								
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	抱負	氏名	職業	年齢	性別	推薦理由	農業委員への推薦・応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(アール)								
											市田 亮	農業	34	男	農業を始めたばかりで栽培の仕方とか借地の貸し借りなどを相談にのってもらってる。	
											戸崎房夫	農業	77	男	農業資材の関係で相談し合い栽培してきました。適任者と感じました。	
											清水英樹	農業	60	男	農業委員としての業務に貢献できると感じる。	
											高濱俊一	農業	61	男	幅広く人脈があり、地域の農業情勢にも詳しいため、更に農業発展に尽力してくれると確信できるため。	
											松田栄一郎	会社員	56	男	おやじの会の会長の時は、子供と一緒に農業体験をしました。	
											山田利明	農業	67	男	長年農業資材の販売を通じ多くの農業者と関係を持ち又自身も農業生産者としての経験もあり強い意志と適切な対応能力があり適任者であると考えられる。	
											濱口昭憲	無職	81	男	地域で幅広く活躍しておられて、長く母親とメロン栽培に精出している姿を拝見し、農業委員として貢献されたい。	
											中原良作	会社員	54	男	母親と長期にわたりメロンを作っており、農業に詳しいため農業の発展に尽力してくれると思います。	
											田中誠也	農業	37	男	地域農業や農家情報に精通しており耕作棄地の防止、解消等に貢献できると思う。	
											川崎幸雄	会社員	69	男	地域農業や農家情報に精通している。又地域の事に対して物知りで皆の情報の発信者でもある。農業委員として適任である。	
											山田喜幸	無職	65	男	農家への資材搬入等の経験あり、生産者へのアドバイスができる。地域の交流も深く信頼できます。	
											浅井昭彦	農家	71	男	農家への肥料、農薬、資材等の販売を通じて、地域農業や農家情報に精通しており農業委員会業務に貢献できると考え期待する。	
											山田清生	農業	37	男	農家の経験があり、問題点や苦勞を把握しているので、地域の農業の取り組みに貢献できると思う。	

農地利用最適化推進委員

1 個人による推薦

募集区域：第2(泊)

番号	被推薦者(推薦を受ける者)							推薦者								
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	抱負	氏名	職業	年齢	性別	推薦理由	農業委員への推薦・応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(アール)								
											笠原貴紀	会社員	52	男	元上司として肥料等の勉強をさせてもらい自力があり、適任と思います。	
											西村一成	会社員	55	男	おやじの会会長の時は、日本海新聞賞をもらった。企画力、行動力、実行力は飛び抜けている。まとめ力もあり適任と思います。	
											小林孝拓	農業	51	男	泊マルシェで重要な役割を果たし、泊地区農業に貢献しているので最適です。	
											山崎清久	農業	70	男	企画力、行動力、実力がすごく適任と思います。	
											中原康彦	建築業	59	男	任務の実行力、頼まれたらすぐ動く。世話好きで信用できる。適任と思います。	
											山本富士男	農業	67	男	前職で肥料、農薬、資材に精通しており、生産者の良き相談者ですから適任と思います。	
											西條敏之	-	60	男	同級生として地域のリーダー的存在であり、実行力、行動力がありで帰任だと思います。	

農地利用最適化推進委員

2 団体による推薦

募集区域：第1(羽合)

番号	被推薦者(推薦を受ける者)							推薦者							
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	抱負	団体名	代表者氏名	団体の目的	推薦理由	農業委員への推薦の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(アール)							
1	松本 勝男	農業	71	男	平成26年4月～現在 平成27年～現在 令和5年7月～現在	農業従事 南谷営農組合組合員 湯梨浜町農地利用最適化 推進委員	水稲、露地 栽培 主な作目 (稲)	49	無	近年の農業は高齢化が進み、一段と耕作者が少なくなってきた。南谷農事実行組合も年々人数が減少。10年前は40名程度いたが、現在は半減し、20数名となっている。今後も組合員は減少することが予想される。また、水田の耕作放棄地もさることながら、山畑も荒れが激しい。春先の交配シーズンになると一面梨の花が咲き誇り、あちこちでラジオの音が賑わった。最盛期の二十世紀梨栽培を知るものとしては、残念で仕方がない。現在は原野である。山間の道路も荒れ放題。道路に倒木があったり、土砂崩れがあったりで、通行不能なところもある。農業の将来的には悲観する要素が多いが、生きるための基本である食を絶やすわけにはいかないし、これ以上の国土の国土の荒廃を防いでいかなければならない。農業が豊かに永続していくためには最先端AIを駆使した元気な組織が必要である。六次産業化をはかること、また、そのような組織を積極的に応援していく行政。一年を通じて仕事が安定していくような職業として成り立つような仕組みを考えていきたい。農地集約化とともにわずかな農地を多くの人に耕作していただく仕組みも必要だろうと考えている。	南谷営農 組合	組合長 松本勝男	集団での 営農	農業に意欲的に取り組んでおられ、多くの皆様に信頼期待され、最適任であると考えます。	有

農地利用最適化推進委員

3 自ら応募

募集区域：第1(羽合)

番号	応募者										
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等 として認定の 有無	抱負	農業委員への 応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積 (アール)			
1	清水 武敏	農業	76	男	昭和43年～昭和49年 昭和49年～平成21年 平成21年～現在	会社員 地方公務員 農業	水稻 果樹 主な作目(梨)	90	無	日本の人口は少子高齢化しており、中でも農業については、担い手不足と同時に離農、後継者不足が問題となっている。これらのことから町内の農地すべてを町内耕作者で耕作することは困難が予想される。 このことを解決するため、他地区の営農団体等への働きかけが重要だと考えます。耕作放棄地をなくすため、中間管理機構等を活用しながら手助けをしたいと思います。	無
2	樋口 浩司	農業	55	男	平成18年～現在 平成28年～令和7年	農業 鳥取県倉吉地区指導農業士理事	露地野菜、施設野菜 主な作目(メロン、スイカ、イチゴ)	106	認定を受けている	遊休農地を減らし、耕作地を増やせるよう活動します。	有
3	蔵本 孝広	農業	68	男	昭和51年4月～平成24年7月 平成24年8月～現在 平成29年7月～現在	鳥取中央農業協同組合 農業に従事 湯梨浜町農業委員	水稻、果樹 主な作物 (水稻、梨)	650	認定を受けている	農業委員を3期9年勤めて来ましたが、役に立っているのか自信がありません。なのでもう1期頑張りたいと思います。 現在の農業は、どの産物を作っても高価格で推移して、特に米は前年の1.5倍以上の価格になり今後が心配です。同時に、燃料、肥料、農薬、資材等が高騰しています。その中、高齢化が進み遊休農地が増大しています。少しでも、お役に立てるよう協力していきたいと思います。	有

募集区域：第2(泊)

応募者											
番号	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等 として認定の 有無	抱負	農業委員への 応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積 (アール)			
1	河井 勝重	農業	81	男	平成19年5月～現在 平成20年4月～現在 平成20年7月～平成29年6月 平成21年4月～現在 平成29年7月～現在	鳥取県農業共済総代 上浅津営農組合組合長 湯梨浜町農業委員会委員 羽合土地改良区総代 湯梨浜町農地利用最適化推進委員	水稻 主な作目(水稻)	1,000	無	年々、農業従事者の高齢化、後継者の不足により、耕作放棄地、遊休農地の拡大が一つの課題である。 農業従事者の育成、機械化等の推進により、集落営農組織等で農地の減少を防止、効率的な農地利用の推進を目指す様に努めたい。	無

募集区域：第3(東郷)

番号	応募者										
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	抱負	農業委員への応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(アール)			
1	前田 協子	農業	66	女	令和元年～ 令和4年～現在	学校勤務 早期退職し、農業従事(水稲、梨) 自家野菜、趣味の園芸	露地野菜 果樹 主な作目(梅、柿、プラム、ブルーベリー、びわ、いちじく、みかん)	105	無	東郷地域に田畑を持つ者であります。我が家も父母、夫を亡くし、水田の管理が出来なくなりました。と同時に、米の値段も上がり、たくさんの水田を所有しながらも、これまでの様に耕作することが出来ず、他の人に依頼しているものの、我が家は自家米をお金を払い、買って食べていることへの現状を悲しく痛感しています。多額の固定資産税、土地改良区費の支払いに納得がいかず、立ち上げる決意をしました。これからの地域の個々の農業には限界があります。農地利用最適化推進委員として動きながら模索し、農家の皆さまを守りたいです。	無
2	伊藤 文夫	農業	72	男	昭和48年4月～昭和55年10月 昭和55年10月～平成8年11月 平成8年11月～現在 平成7年7月～現在	農業に従事 (有)朝倉ガラス店勤務 農業に従事 湯梨浜町農地利用最適化推進委員	水稲 果樹 主な作目(梨)	201	認定を受けている	農業人口の減少、特に果樹農家の減少が著しい。また、高齢者が多く、耕作放棄地の管理が出来ない。定期的に農地のパトロール、農地の集約化や遊休農地の解消、新規就農の促進などに努めます。農業新聞購読の推進、農業者年金加入の推進に努めます。	無
3	岡本 章	農業	78	男	昭和53年4月～平成25年8月 平成25年8月～現在 平成28年3月～令和2年3月 令和2年7月～令和5年7月 令和5年7月～現在	郵便局勤務 農業 東郷土地改良区理事(会計担当) 湯梨浜町農地利用最適化推進委員 湯梨浜町農地利用最適化推進委員	水稲 露地野菜 果樹 主な作目(水稲)	60	無	湯梨浜町も少子高齢化社会になり、農業生産はもとより農地を取り囲む地域社会そのものの維持が見通せない。特に、中山間地域の多い旧東郷地区では顕著である。東郷地区住民としての年齢的な経験実績と人的交流を利用して、農地の維持継続と発展に少しでも貢献したい。	無
4	倉本 哲男	農業	75	男	昭和45年4月～平成23年3月 平成23年4月～現在 平成26年7月～平成29年7月 平成29年7月～現在	鳥取県警 農業 湯梨浜町農業委員 湯梨浜町農地利用最適化推進委員	水稲、果樹 主な作目(水稲、梨)	90	無	農業者の高齢化、担い手不足、有害鳥獣による被害等により、耕作放棄地や有休農地の発生が今後ますます増加することが懸念されます。特に中山間地域の農業生産条件不利地をの農地維持管理するための活動に取り組みたいと考えております。	無
5	山本 美代子	農業	69	女	昭和51年4月～平成12年3月 平成25年8月～現在 令和2年1月～現在 令和2年7月～令和5年7月 令和4年12月～令和7年11月	大栄町役場 農業 鳥取県指導農業士 湯梨浜町農業委員 湯梨浜町民生委員	果樹 主な作目(梨)	31	無	湯梨浜町に限らずですが、農業は特に後継者・新規就農者が少なく、悲しいですが先細り状態です。農業は大変な仕事と思う人が多く、一般に印象が悪く特に若者には魅力を感じてもらえてないと思います。私は、梨の木がかわいくて日々の仕事は大変な事も多いですが、工夫しだいでやり甲斐や楽しみも持てる夢のある仕事です。土とふれ合う事で自然と対話出来、精神的にもとても良いと感じています。推進員に就任できたら町民のみなさんに少しでも自然に親しめる環境を提供できたらと思います。	無

募集区域：第3(東郷)

番号	応募者										
	氏名	職業	年齢	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者等として認定の有無	抱負	農業委員への応募の有無
					年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(アール)			
6	土海 政信	農業	76	男	昭和43年7月～平成13年3月 平成14年1月～平成24年12月 平成28年1月～令和3年3月 令和2年3月～令和5年2月 平成29年7月～現在	鳥取中央農業協同組合 鳥取中央農協東郷選果場班長 湯梨浜町選挙管理委員会委員 東郷土地改良区 監事 湯梨浜町農業委員会委員 3期	水稲 果樹 主な作目 (水稲、梨、梅、柿)	170	無	高齢化また水稲では収入減により農業離れが起き、請負者がいない現状で耕作放棄地が増えている。 遊休農地・耕作放棄地の解消を少人数でも管理が出来る集団で農地の有効利用を地域・集落で「多面的機能制度」などの各制度を活用し、「魅力ある農業」をめざします。	有
7	下田 健一	農業	69	男	昭和52年4月～現在 令和2年7月～現在 令和7年9月～現在	農業従事 湯梨浜町農業委員 今滝梨団地会長	水稲 果樹 主な作目 (水稲、梨)	175	認定を受けている	近年、農業をされる若い人が増えたように思える。しかし、まだ高齢者の方が多く病気等で栽培を断念される方が増えています。水稲では利用券を利用している受け手はあるものの、樹園地ではなかなか見つかりません。樹園地の整備、機械購入等補助事業があることを説明し東郷梨を守りたい。今滝梨団地の工事が大変遅れて皆様困っておられる。入植者の方と役場、県、農協とのパイプ役になり1年でも早く収穫ができるように尽力したい。	有
8	眞木 規透	農業	46	男	平成12年～平成30年 平成30年～現在	会社員 農業従事	水稲 主な作目 (水稲)	3300	認定を受けている	湯梨浜町の農業は、高齢化の進行や担い手不足により、耕作放棄地の増加など厳しい状況に直面しています。私自身、水稲を中心に33haの経営に取り組む中でこうした課題を日々実感しています。今後、地域の農地を維持していくためには、単に現状を守るだけでなく、担い手への農地集積や作業の効率化を進め、持続可能な営農体制を構築していくことが重要だと考えます。ドローンの導入など省力化に取り組みながら、限られた人手でも農地を維持できる仕組みづくりを進めていきたいと考えています。委員としては、現場の実情を踏まえた意見を積極的に発信し、農地の有効活用や担い手への円滑な集積に貢献するとともに、地域農業の維持・発展に向けて責任を持って取り組んでまいります。また、本制度への応募は今回が初めてであり、分からないことも多いとは思いますが、学びながら地域に貢献できるよう努めていきたいと考えています。	有
9	石橋 駿介	農業	32	男	平成30年4月～令和5年4月 令和5年5月～現在	(有)ひよこカンパニー 農業従事	水稲、果樹 主な作目 (梨、水稲)	50	無	湯梨浜町の農業の課題は、農業従事者の多くが高齢者であることだと考えます。20歳から60歳までの若手農家を増やさなければなりません。なぜかという理由は2つあります。1つ目は、生産能力の高さが若い人ほど高いからです。体力があることに加え、現代の様々なデバイスを使いこなすことができるため効率の良い生産を行えます。2つ目は、次世代へ引き継ぐにあたって変化に柔軟に対応しながら引き継いでいけるからです。変化の激しい世の中に対応するためには若い柔軟な思考で次世代へつないでいくことが大事だと考えます。私が推進委員に就任した場合、高齢者など農業を辞める人と若者とをつなぐ架け橋になれるようがんばりたいと思います。	無